



COVER VISION ▶▶▶ (株)重松 (藍暦リーフレット)

福岡県久留米市にあるアパレルメーカー。創業は1931年。もともと久留米かすりの製造を行っていたが、後に問屋業へシフトし、2002年に久留米かすりと共に歩むアパレルブランド、藍暦をスタート。常に情勢を読みながら柔軟に進化を遂げている。最近では大阪、千葉など百貨店の催事にも積極的に出展するお客様です。



< Designers Eye >



久留米かすりは生地としての主張が強いので、デザインはあえてサラリと逆のイメージにふっている。その分、洋服には一見関係のないようなブランドとしての主張を載せたり、地元紹介もさり気なく載せることで、地元を愛する心になぞらせて、こだわりやお客様への愛情を伝えている。



ようやく温かくなって色とりどりの花も咲き乱れ ニュースレター『IDEAVISION 02』スタートです！

こんにちは！アイデアの佐藤です。先日、福岡の大濠公園で残る桜を見て友人と簡単な花見をしました。福岡では桜も終わり、世の中は新入学シーズン、企業でも新入社員が入ったりする頃でしょうか。私も22歳でデザイナーとして東京の制作会社に入りました。それから20数年色々なことを乗り越え、今もデザインと関わりが持てることは有り難いことだと思います。20代に心に灯った炎は、今も形を変えながら僕の中で燃えています。

★なりふり構ってやってみる！

一世代前には「すぐに形から入って！」と言われたものです。でも今の世の中、現在では形から入らないことの方に無理がある。僕はカタチから入ることが悪だと思っていないタイプの人間で、カタチに中身を埋めていけばいいじゃないか！と思っています。またカタチの方が簡単に変更が可能だと思います。合わなければすぐに改良を加えていけばいい。そんな風に思います。

必死にやれば、やり方なんてどうでもいい。中身が備わってからカタチを作っていたのでは、周りがある存在に気がつくまでにどんどん遅れをとってしまう、そんな視点で今の世の中を捉えていて、中身が備わってくるとカタチも変化し、一つの個性が誕生するのだと思います。逆を言えば、カタチから入るにはイメージーションが必要です、それは一つ才能であるとも言える。さらにはカタチから入る世代にとっては、カタチは意味をなさなくなってきたとも言えるかもしれません。(あって当然のものに価値を見い出せない環境)

★デザインは企業にとって標準装備の時代に

これは私のやっているデザインにもすごく影響することです。極論を言えば、デザインは良くて当たり前前の時代がきていて、良さのさらに向こう側へ行かないといけない時代に到達している。デザインは企業にとって必須科目で、既に標準装備されていないと次世代の心やお客様の心を捕らえることや、先行くトップブランドには距離を開けられる一方という図式が私には見えてならないのです。

業種の境が曖昧になって マーケット市場は異種格闘技戦に！

★進むボーダレス化

TVで芸能人を見ていてもわかりますが、アイドルがバラエティー番組をやったり、司会をやったり、お笑い芸人の活躍が一番顕著だと思

いますが、俳優、監督、作家など様々な異業種に参入しています。これは明らかに業種の境がなくなっている現象(ボーダレス化)で、私たちの実経済においてもボーダレス化は明確です。

★技術と強みを活かす事業展開

今まで専門としてきた領域に、マーケットの住み分けができていた異業種分野の企業が進出してくる。その特定分野での技術や強みを活かし、事業展開している。それはバブル期のやみくもに手を広げるかたちとは明らかに違う気がする。するとこれまで専門でしてきたもともと狭い市場では、これまで通りの商売ができなくなってしまい、増々熾烈な市場争いが始まる。タレントで見ていると軸足を本業におきながらも異業種界を荒らさない程度に可能性を見つけている方がお茶の間では人気ようだし、その意外性にディレクター(制作側)も可能性を見ているようだ。

★一発ギャグの持続力はそう長くない

芸人もトーク力(話術)がないと番組に呼ばれない。芸人の単発ギャグが何年も通用しないように、我々も日々考え努力しなければならいように思うのは私だけでしょうか？漫才はできてトークができなければ番組で起用されないなんて、TVから学びました。(笑)だから様々なジャンルで活躍する芸人さんは凄いなと、お笑い番組を見て、リスペクトしながら経済の縮図を見ている気がします。

★何でもやれるではなく、これならやれる。

TV市場はまさに異種格闘技戦を見るかのようだ。だからそれぞれの分野においてしっかり「価値を伝える」必要性がある。また可能性をもとにハードルを飛び越えていく時代ではないかと思う。そこに指示してくれるファンがいれば、新しい一歩を築いていけるのだから。

★★★★★★ 編集後記 ★★★★★★

今、地元の「つるフェス」という久留米かすりの織元さん発信のイベントチラシを制作している。これはたった1枚の名刺の仕事がきっかけとなって、また新しい関わりで発展している。参加する作家さんや他のデザイナー、ギャラリーのオーナーなどとの出会いも含め、私を違う世界に連れて行ってくれる。デザインするという技術に感謝している。



つるフェスは5/29~6/1(Gアールグレイ)
詳細は後日ブログ、HPなどで...